

【ご参考資料】

2012年7月24日  
野村アセットマネジメント株式会社

**「世界高金利分散債券ファンド(愛称:ボンドクルーズ)」**  
**2012年7月23日決算の分配金と基準価額推移および投資環境について**

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「世界高金利分散債券ファンド(愛称:ボンドクルーズ)」(以下、ファンド)の2012年7月23日決算における分配金について、以下の通りご連絡いたします。

**1 万口当たり 25 円(課税前)(前月は 40 円)**

※原則、毎月22日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。分配金額は、利子・配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案し、委託会社が決定します。当面は、毎月の決算時に、原則として利子・配当等収益等中心の安定分配を行なうことを基本とし、2月・5月・8月および11月の決算時には、基準価額水準等を勘案し、委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

ファンドは2008年11月以降2012年6月まで、毎決算時に40円(課税前、1万口当たり)の分配金を継続して参りました。

しかし、投資家のリスク回避姿勢の強まりを背景に先進国を中心に債券が買い進められ、債券利回りが低下する中(世界国債(AA格以上)<sup>※1</sup>では2008年11月末時点の2.1%から2012年6月末時点では1.0%に低下)、ファンドの平均最終利回り<sup>※2</sup>は2008年11月末時点の8.0%から2012年6月末時点では4.0%に低下しました。この間為替市場では円高基調が続きました。また、ファンドの基準価額は過去1年、6,000円台から7,000円台の間で推移しました。

このような状況下、ファンドの平均最終利回り、基準価額水準、市場動向等を勘案し、分配金の見直しを行ないました。

※1 使用した指数については、3ページの「使用した指数について」をご参照ください。

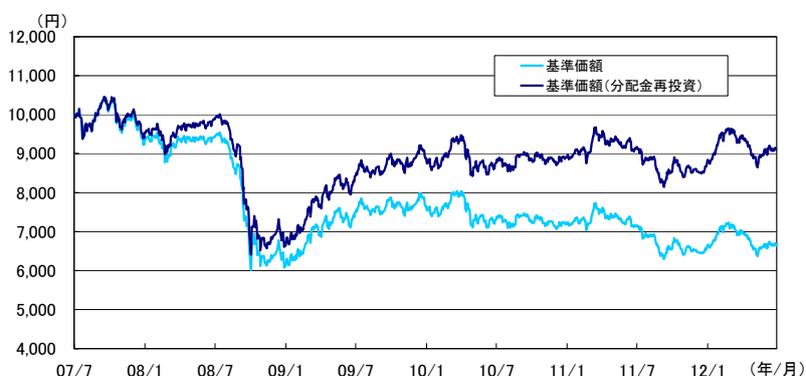
※2 平均最終利回りは、ファンドの組入債券等(現金を含む)の最終利回りを、その組入比率で加重平均したもの(現地通貨建)。

## 1. 設定来の基準価額の推移

ファンドの2012年7月23日の基準価額は6,630円となりました。また、基準価額(分配金再投資)の設定来の騰落率は-9.1%となりました。

### 設定来の基準価額の推移

期間:2007年7月27日(設定日)~2012年7月23日、日次



※基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したもとして計算した価額です。したがって、実際のファンドは課税条件等によって受益者ごとに価額は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。上記のグラフは過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、「世界高金利分散債券ファンド(愛称:ボンドクルーズ)」に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前ののものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでその他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

## 2. 設定来の投資環境

### 【高格付債券市場】

2008年に米大手証券会社破綻による金融システム不安の高まりから、安全資産としての米国やドイツなどの高格付債券の価格は上昇しました。2009年以降は、世界景気が回復の兆しをみせたことや、資源価格の上昇などからインフレ懸念が高まる局面で、債券価格が下落に転じる場面もみられました。しかし、米国など主要国の金融緩和政策が長期化したことや、ギリシャなど欧州周辺国の財政に対する懸念などにより高格付債券の需要が高まったことから、高格付債券市場は上昇基調で推移しました。

### 【ハイ・イールド債券市場】

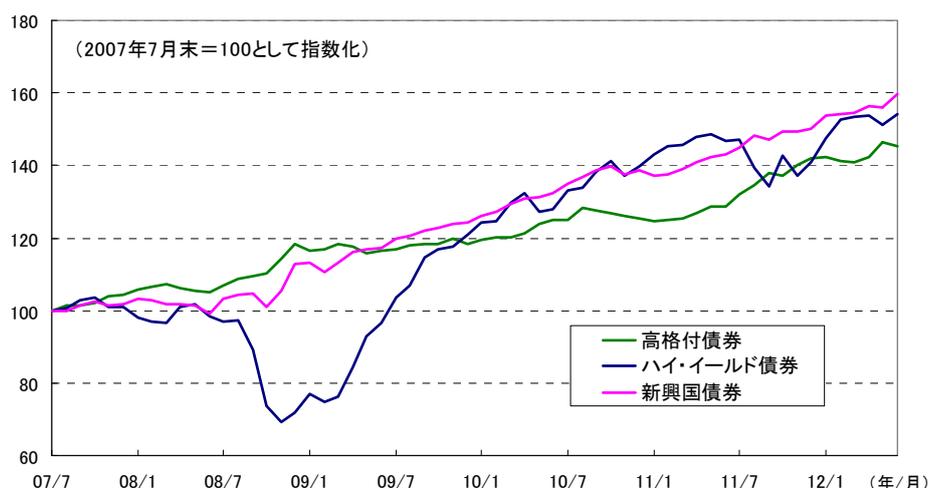
ハイ・イールド債券市場は、2008年の金融危機時には大幅に下落し、利回りが20%を超える場面もありましたが、その後は回復に向かいました。発行企業のファンダメンタルズ(基礎的条件)は改善し、借り換えが進んだこともあってデフォルト率は低く抑えられ、格上げとなる企業が目立ちました。また、先進国の金利が低下する中で、ハイ・イールド債券の高い利回りに着目した投資家の資金が流入したことなども回復に寄与しました。ただし、ギリシャなど欧州周辺国の債務懸念は根強く、回復の過程で不安定な動きとなる局面もありました。

### 【新興国債券市場】

新興国の景気拡大や財政の健全化、インフレ率の低下、対外債務状況の改善などを受け、新興国債券市場は2007年7月末以降堅調に推移しました。2008年の金融危機やその後の欧州債務危機においても、相対的に安定したパフォーマンスをみせました。2011年の後半以降には、新興国の中で景気の過熱感がやわらぎ、金融緩和に転じる動きが出始めたことも、新興国債券市場上昇の要因となりました。

## 高格付債券、ハイ・イールド債券および新興国債券の市場指数(現地通貨ベース)の推移

期間:2007年7月末~2012年6月末、月次



使用した指数については3ページの「使用した指数について」をご参照ください。

(出所)ブルームバーグを基に野村アセットマネジメント作成

上記のグラフは過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

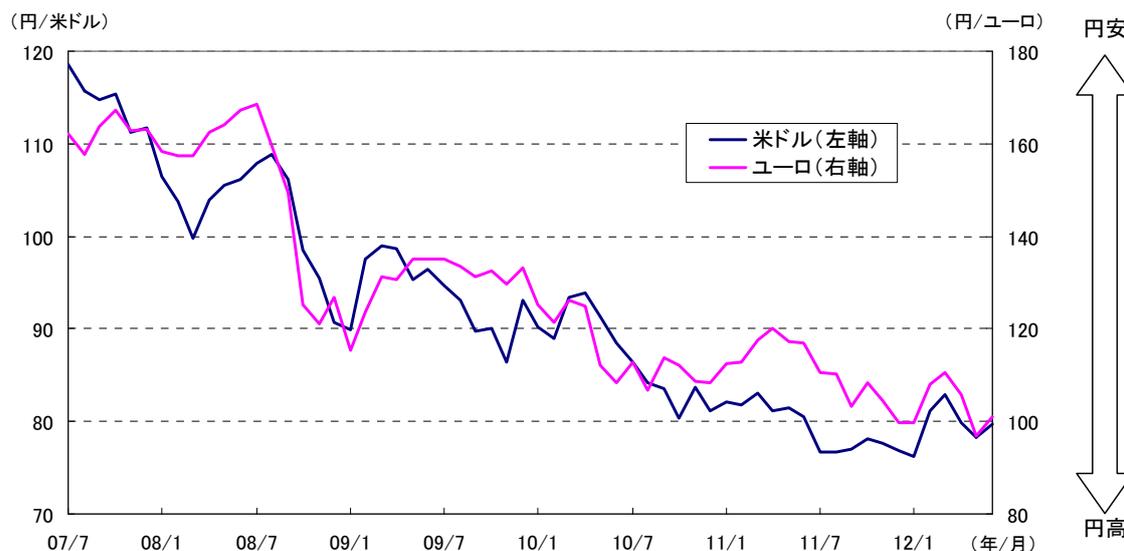
当資料は、「世界高金利分散債券ファンド(愛称:ボンドクルーズ)」に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでその他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

【為替市場】

2007年7月末以降、円は主要通貨に対して上昇(円高)しました。2008年の金融危機を受け、世界的に経済成長率が大きく落ち込む中、投資家のリスク回避姿勢が強まり、相対的に安全資産とみられた円が買われました。その後も、欧州債務問題や米国債の格下げなど、先進国の経済・財政状況に関する懸念は払拭されませんでした。また、欧米の金融当局による政策金利の引き下げや量的緩和の発動などにより、日米および日欧の短期金利差が縮小したことなども円を支える要因となりました。

米ドルおよびユーロの対円為替レート推移

期間:2007年7月末~2012年6月末、月次



(出所)ブルームバーグを基に野村アセットマネジメント作成

上記のグラフは過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

引き続き、ご愛顧賜りますようよろしくお願い申し上げます。

以上

<使用した指数について>

【世界国債(AA格以上)】シティグループ世界国債インデックス除く日本(AAA/AA格)【高格付債券】シティグループ世界国債インデックスの採用国のうち、AA格以上の長期価格付を有している国(格付のない場合には委託会社が当該格付と同等の信用度を有すると判断した国を含みます)で且つ、金利の高い上位5か国(ユーロ圏については、経済規模が最も大きいドイツの金利を使用)を四半期毎に選定し、毎月末にリバランスしたデータ【新興国債券】JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド【ハイ・イールド債券】BofA・メルリンチ・USハイ・イールド・マスター II・コンストレインド・インデックスおよびBofA・メルリンチ・ヨーロッパ・カレンシー・ハイ・イールド・コンストレインド・インデックスを50:50で合成した指数

●シティグループ世界国債インデックスは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した指数であり、同指数に対する著作権、知的所有権、その他一切の権利は同社に帰属します。●JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(JP Morgan GBI-EM Global Diversified)は、J.P.Morgan Securities LLCが公表している、現地通貨建ての新興国債券を対象とした指数です。当該指数に関する著作権および知的財産権は同社に帰属します。●BofA・メルリンチ・US ハイ・イールド・マスター II・コンストレインド・インデックス(BofA Merrill Lynch US High Yield Master II Constrained Index)は、バンクオブアメリカ・メルリンチが算出する、米国のハイ・イールド・ボンド市場全体のパフォーマンスを表す代表的な指数です。(野村アセットマネジメントは、バンクオブアメリカ・メルリンチより、同指数を用いることを許諾されています。)BofA・メルリンチ・ヨーロッパ・カレンシー・ハイ・イールド・コンストレインド・インデックス(BofA Merrill Lynch European Currency High Yield Constrained Index)は、バンクオブアメリカ・メルリンチが算出する、欧州通貨建てのハイ・イールド・ボンド市場全体のパフォーマンスを表す代表的な指数で、同一発行体の発行するハイ・イールド・ボンドの指数に占める構成比率を3%に制限した指数です。(野村アセットマネジメントは、バンクオブアメリカ・メルリンチより、同指数を用いることを許諾されています。)

当資料は、「世界高金利分散債券ファンド(愛称:ボンドクルーズ)」に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでその他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【ファンドの特色】

- 高水準のインカムゲインの獲得と中長期的な信託財産の成長を目的として運用を行いません。
- 世界先進主要国のうち、信用力が高く、相対的に金利が高い国のソブリン債、世界の高利回り事業債(ハイ・イールド債)およびエマージング・カン トリーの政府、政府機関、もしくは企業の発行する債券(エマージング・マーケット債)のうち現地通貨建のものを実質的な主要投資対象\*とします。  
※「実質的な主要投資対象」とは、「高金利ソブリン マザーファンド」および「グローバル・ボンド・ファンズ マザーファンド」を通じて投資する、 主要な投資対象という意味です。
- 「高金利ソブリン マザーファンド」および「グローバル・ボンド・ファンズ マザーファンド」を通じて、実質的に、世界先進主要国のうち、信用力が高く、 相対的に金利が高い国のソブリン債、世界のハイ・イールド債およびエマージング・マーケット債のうち現地通貨建のものに分散投資を行いません。  
◆ マザーファンドの合計の組入比率は、高位を維持することを基本とします。各マザーファンドへの配分比率(基準配分比率といひます。) を中長期的な観点から決定し、それに沿った配分を行なうことを基本とします。

■ 当面の基準配分比率 ■

◆高金利ソブリン マザーファンド	概ね50%程度
◆グローバル・ボンド・ファンズ マザーファンド	概ね50%程度
・ハイ・イールド債に実質的に投資する投資信託証券*	25%程度
・現地通貨建のエマージング・マーケット債に実質的に投資する投資信託証券*	25%程度

※投資信託証券の見直しを行なう場合があります。なお、投資信託証券の概要は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

\* 基準配分比率は、中長期的な債券の種類間のリターン・リスク関係、市場構造の変化等を考慮し、見直しを行なう場合があります。  
\* 実際の各マザーファンドへの配分比率は、基準配分比率から乖離する場合があります。

- 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
  - ファンドは「高金利ソブリン マザーファンド」および「グローバル・ボンド・ファンズ マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で 運用します。
  - 「グローバル・ボンド・ファンズ マザーファンド」の運用にあたっては、ピムコジャパンリミテッドに、運用の指図に関する権限の一部を委託します。
  - 原則、毎月22日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。  
分配金額は、利子・配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案し、委託会社が決定します。  
※ 当面は、毎月の決算時に、原則として利子・配当等収益等中心の安定分配を行なうことを基本とし、2月・5月・8月および11月の決算時には、 基準価額水準等を勘案し、委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。  
\* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。
- 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

【投資リスク】

ファンドは、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債 券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨 建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。  
したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生 じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 無期限(平成19年7月27日設定)
- 決算日および 年12回の決算時(原則、毎月22日。休業日の場合は 収益分配 翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額
- ご購入単位 一般コース:1万口以上1万口単位(当初元本1口=1円) または1万円以上1円単位  
自動けいぞく投資コース:1万円以上1円単位  
※お取扱コース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額
- お申込不可日 ご換金申込日の翌営業日の基準価額  
販売会社の営業日であっても、申込日当日が、下記のいずれかの 休業日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金の各お申込が できません。  
・ロンドンの銀行・ニューヨークの銀行・ニューヨーク証券取引所 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時 および償還時の譲渡益に対して課税されます。なお、税法が 改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。
- 課税関係

【当ファンドに係る費用】

(2012年7月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に2.1%(税抜2.0%)以内で販売会社が独自に 定める率を乗じて得た額 ※詳しくは販売会社に確認ください。
◆運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.365%(税抜年1.30%)の率を 乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用 ・手数料	組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、 外貨建資産の保管等に要する費用、ファンドに関する租税、 監査費用等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に 料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額 (ご換金時)	ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に 応じて異なりますので、表示することができません。  
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会:社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料は、「世界高金利分散債券ファンド(愛称:ボンドクルーズ)」に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

# 世界高金利分散債券ファンド（愛称:ボンドクルーズ）

## お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社群馬銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第46号	○		○	
株式会社京都銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第10号	○		○	

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。  
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。